

第1回水稻病虫害発生予察状況の調査結果について

令和8年6月26日

兵庫県農業共済組合西播支所

佐用町内（佐用3，上月1、三日月1）の水稻病虫害発生状況について6月25日に調査を行いました。病害については一部ほ場でいもち病が確認されました。害虫はイネゾウムシがわずかに確認された程度でした。

1 調査結果（調査日6月25日）

◎生育調査結果

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
コノホシ（三日月折口）	52.6	22.8	5月23日移植

◎病虫害調査結果

病虫害名	調査結果の概要	今後の対策
いもち病	一部のほ場で発生がありました。	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除・管理に努めてください。
紋枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
縞葉枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ウンカ類	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ツマグロヨコバイ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ニカメイチュウ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
カメムシ類	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

- ① いもち病の常発地域ではこまめにほ場を観察し、必要であればウンカ防除も含めてコラトップトレボン粒剤（3～4 kg/10 a）を早めに散布しましょう。補植用の苗は、いもち病の発生源になりますので、ほ場から持ち出して処分してください。
- ② ガスが湧いて生育が進まない場合は2，3日水を落として田干しを行ってください。
- ③ 1株当たりの茎数が18～20本になりましたら、遅れないよう中干しを行ってください。
- ④ 台風について、冠浸水を受けたほ場は速やかな排水に努め、通常の水深まで水を落とす。少なくとも歯先や穂先だけでも水面に出すよう努めてください。

3 その他

- ① 梅雨入りは気象庁の速報値では昨年より2日早い6月7日となりました。
- ② 兵庫県病虫害防除所が6月9日に発表した「病虫害発生予報第2号」ではヒメトビウンカは「平年並み」になっています。
- ③ 6月5日、9日にいもち病の感染好適条件の日がありました（BLASTAM 情報）。
- ④ 1か月予報：平年と同様曇りや雨の日が多い（気温：並、降水量：多、日照時間：並）

次回の調査予定日：令和8年7月7日（火）です。